

単 独

# 設 計 図 書

( 特記仕様書・位置図・工事数量総括表 )

2024 年度施行

西 6 丁目通り道路改良工事

---

留萌市

特 記 仕 様 書

## 特記仕様書

- 01 共通仕様書  
当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等  
1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。  
（１）一般土木工事  
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」  
2 「土木工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。  
（１）機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。  
（２）特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。  
（３）上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。  
3 「土木工事工種体系化の手引き」において定めている事項を設計図書の規格・摘要欄に明示しているが、現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。  
4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。  
（１）一般土木工事  
「土木工事数量算出要領」
- 03 概数  
1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。  
2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。  
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。  
3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。  
4 当該工事において、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。
- 04 非契約数量

## 特記仕様書

工事数量総括表の単位及び数量が（ ）で表記されている数量（摘要を含む）は、契約事項とならない数量である。  
ただし、契約数量に連動して概数の確定や現場条件変更等が生じた場合には、必要に応じて設計変更する。

### 01 工期設定について

工期：2024年5月15日から2024年10月30日まで

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間：40日間

後片付け期間：20日間

雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数 実働日数×係数）：1.68

上記の他、特別に見込んでいる日数や特別に工期に影響のある事項があれば記載する。

### 01 時間的制約を求められた場合の報告

当該工事の施工に当たり、関係機関・自治体等から通勤・通学の時間帯や周辺地域の状況により、時間的制約等を求められた場合には、工事監督員に報告すること。

### 04 市水道局との立会い

当該工事区間には留萌市上下水道課の水道管、下水道管が埋設されている。施工に先立ち、工事監督員から埋設占用物の参考図面を受領するとともに、その埋設位置、深さなどの詳細は必ず留萌市上下水道課に問い合わせを行い、必要に応じて立会等を求めること。

### 01 地下埋設物の管理者等との立会い

当該工事の施工に当たっては、地下埋設物の管理者等との現地立会を行い、当該物件の位置、深さ、保安対策等の打合せを行うこと。  
なお、「立会い打ち合わせ調書」等にその打ち合わせ内容と結果を記載して立会い者等に押印を求め、当該調書の写しを工事監督員に提出すること。

### 01 中間検査

1 当該工事は、次の段階で中間検査を実施する。

（1）土木工事共通仕様書 第1編 第1章 1-1-1-23 表1-1によるもの。

（2）次の項目については、段階確認（上記（1）以外）を実施する。

1. 掘削完了後の掘削床の幅

2. 砕石基礎の幅

3. 路盤工の幅、厚さ

4. 土工（掘削工）の際、土（岩）質の変化した時点

なお、上記以外で、必要に応じて中間検査を追加することがあるが、その時は事前に受注者へ通知する。

2 中間検査の実施に当たっては、実施可能日の7日前までに工事監督員に報告すること。

## 特記仕様書

- 01 交通安全管理の仕様  
交通安全管理については、設計図等に基づくものとする。  
なお、地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により変更の必要が生じた場合には、工事監督員と協議すること。
- 04 交通処理計画の提出  
当該工事は片側交互通行、又は路肩車線規制（車両、昼間）を行い施工することとし、交通処理は土木工事共通仕様書及び着手前に現地状況等を確認のうえ、交通処理計画を作成し工事監督員と協議すること。  
規制の基本的な考え方は次のとおりとする。  
1 車道部に係る作業：片側交互通行規制  
2 路肩部に係る作業：路肩通行規制
- 06 バリケード等の設置、誘導警備員の配置  
当該工事箇所の近隣には、公園、住宅等があるため、第三者が工事区域内へ侵入しないようバリケード・保安灯を設置すること。また、配置については、北海道開発局保安施設設置標準図に基づき適正に配置すること。
- 01 交通誘導警備員の配置(片側交互通行)  
当該工事の施工に当たっては、片側交互通行を予定している。次の作業期間中は交通誘導警備員を配置するものとし、施工区間前後に1名ずつ配置し、交通誘導員2名を見込んでいる。  
なお、毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通等に支障がないよう安全対策を講じること。
- 04 仮歩道の設置  
仮歩道は、W=2.0m以上を確保することとし、構造等の詳細については、工事監督員と事前に協議すること。
- 02 コンクリート再生骨材について  
1 コンクリート再生骨材を路盤用材料等に使用する場合の品質確保については、「土木工事共通仕様書」による。  
2 コンクリート再生骨材の品質管理は、製造者の試験成績結果によることができる。  
確認の頻度は、製造施設毎に年1回以上とする。ただし、品質に変動が見受けられる場合は、確認の頻度を増やすなど考慮すること。  
なお、品質については、事前に確認すること。  
3 コンクリート再生骨材を路盤等に使用場合は、基本的に100%で使用するものとする。  
施工時期が確定した時点で、再資源化施設に供給量の確認を行い、施工協議簿に別途配布の「再生骨材の出荷確認について」の写しを添付し、工事監督員に報告すること。

## 特記仕様書

- 03 コンクリート再生骨材の使用（再生骨材単価が、再資源化施設渡し単価で設定されている地域）  
当該工事におけるコンクリート再生骨材の使用については、次のとおりとする。
- 1 コンクリート再生骨材：0～40mm級（下層路盤、基礎材）
  - 2 コンクリート再生骨材：0～80mm級（凍上抑制層、基礎材）
- また、再資源化施設については、コンクリート再生骨材：0～40mm級は株式会社産業廃棄物処理センター（片道運搬距離：2.8km、）、コンクリート再生骨材：0～80mm級は株式会社ネオリサイクル（片道運搬距離：4.2km）を予定しているが、受注後ただちに再資源化施設に供給量の確認を行い、施工協議簿に別途配布の「再生骨材の出荷確認について」の写しを添付し、工事監督員に報告すること。
- 01 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律  
この工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号、以下「建設リサイクル法」という）」に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
- 01 舗装の切断作業時に発生する排水について  
舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。  
回収された排水については、関係機関等と協議の上、適正に処理するものとし、必要と認められる経費については設計変更の対象とするため、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。
- 02 特定建設資材廃棄物の処理条件  
分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト塊）は、次のとおり再資源化等を実施することとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。
- 1 アスファルト塊

## 特記仕様書

- ( 1 ) 処分場所 : 株式会社ネオリサイクル ( 受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定 )
- ( 2 ) 運搬距離 : 片道運搬距離4.2km
- ( 3 ) 処理方法 : 再資源化
- ( 4 ) 受入条件 : アスファルト塊

### 2 コンクリート塊

- ( 1 ) 処分場所 : 株式会社産業廃棄物処理センター ( 受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定 )
- ( 2 ) 運搬距離 : 片道運搬距離2.8km
- ( 3 ) 処理方法 : 再資源化
- ( 4 ) 受入条件 : 無筋コンクリート塊・鉄筋コンクリート塊

03

### 建設副産物の処理条件

当該工事の施工により発生する建設副産物の処理については、次のとおりとするが、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。また、処分場所については積算上の条件明示であり、処分場所を指定するものではない。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出の上、工事監督員と協議すること。

#### 1 建設汚泥

- ( 1 ) 処分場所 : (株)ネオリサイクル第3工場 ( 受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定 )
- ( 2 ) 運搬距離 : 片道運搬距離3.1km
- ( 3 ) 処理方法 : 再資源化
- ( 4 ) 受入条件 : 含水比 85 % 以上

02

### 現場発生品の引渡し

既存施設の撤去により生じた現場発生品は、次の場所まで運搬のうえ引渡すこと。

なお、下記以外の材料が発生した場合は、工事監督員の指示によること。

#### 1 現場発生品名：鉄くず

- ( 1 ) 引渡場所：留萌市土木車両センター ( 片道運搬距離5.0km )

01

### 現場代理人の常駐義務緩和について

- 1 現場代理人は、原則として当該建設工事の着手日から完成届の受理日まで工事現場に常駐し、運営取締りを行うものとする。ただし、次のいずれかに該当する期間は、工事現場に常駐を要しないことができるものとする。

- ( 1 ) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- ( 2 ) 建設工事の全部を一時中止している期間

## 特記仕様書

( 3 ) 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

- 2 次の各号のすべてに該当する場合に、現場代理人の兼務を認めるものとする。ただし、現場の状況等を考慮し、現場代理人を兼務することが適当でないと認めたときは、この限りでない。
- ( 1 ) 兼務する建設工事と関連性がある建設工事若しくは、同一の工種の建設工事であること。
  - ( 2 ) 兼務する建設工事の請負金額が 4 , 0 0 0 万円 ( 建築一式工事 8 , 0 0 0 万円 ) 未満であること。
  - ( 3 ) 兼務ができる工事は、原則 3 件以内であること。ただし、災害復旧工事については、別途協議により決定する。
  - ( 4 ) 兼務する工事は、原則、留萌市内の公共工事であること。
  - ( 5 ) 工事監督員と常に連絡が取れる体制を確保できること ( 携帯電話や連絡責任者の配置 ) 。
  - ( 6 ) 現場代理人は、兼務するいずれかの工事現場に常駐すること。
- 3 受注者は、同一の現場代理人を複数工事現場に配置しようとする場合は、現場代理人兼務届出書 ( 別途様式第 1 号 ) を、市長に提出するものとする。

### 02 完成図 ( 出来形総括図 )

完成図 ( 出来形総括図 ) : 別途定める作成要領に基づき、完成図等を作成し、成果品として提出すること。なお、これに係る費用は共通仮設費 [ 率分 ] のうち技術管理費に含まれている。

### 01 設計図書に明示のない取扱い

設計図書に定めのない事象が生じた場合は、工事監督員と別途協議をすることとし、必要に応じて設計変更を行う。

## 概数として扱う数量一覧表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事	当初	事業区分	道路新設・改築		
					工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
道路改良				式		1		
構造物撤去工				式		1		
運搬処理工				式		1		
殻運搬			無筋コンクリート DID:有 運搬距離:2.8km	m3		22		概数
殻運搬			鉄筋コンクリート DID:有 運搬距離:2.8km	m3		17		概数
殻運搬			舗装版破碎 厚さ:15cm以下 DID:有り 運搬距離:4.2km	m3		88		概数
殻処分			コンクリート殻(無筋)	m3		22		概数
殻処分			コンクリート殻(鉄筋)	m3		17		概数
殻処分			アスファルト殻	m3		88		概数
殻処分			殻種別：汚泥（切断水）	m3		0.2		概数
殻処分			廃プラスチック	t		0.08		概数
現場発生品運搬			廃プラスチック	回		1		概数
現場発生品運搬			鉄屑(グレーチング蓋等)	回		1		概数

## 概数として扱う数量一覧表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事	当初	事業区分	道路新設・改築		
					工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装				式		1		
舗装工				式		1		
舗装準備工				式		1		
不陸整正			補足材料：有 平均厚t=5cm 切込碎石0-40mm	m2		10		概数
アスファルト舗装工				式		1		
下層路盤(歩道部:民地摺付)			(民地摺付)路盤材種類:コンクリート再生骨材 0～40mm級 仕上り厚：20cm	m2		325		概数

位

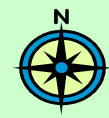
置

図

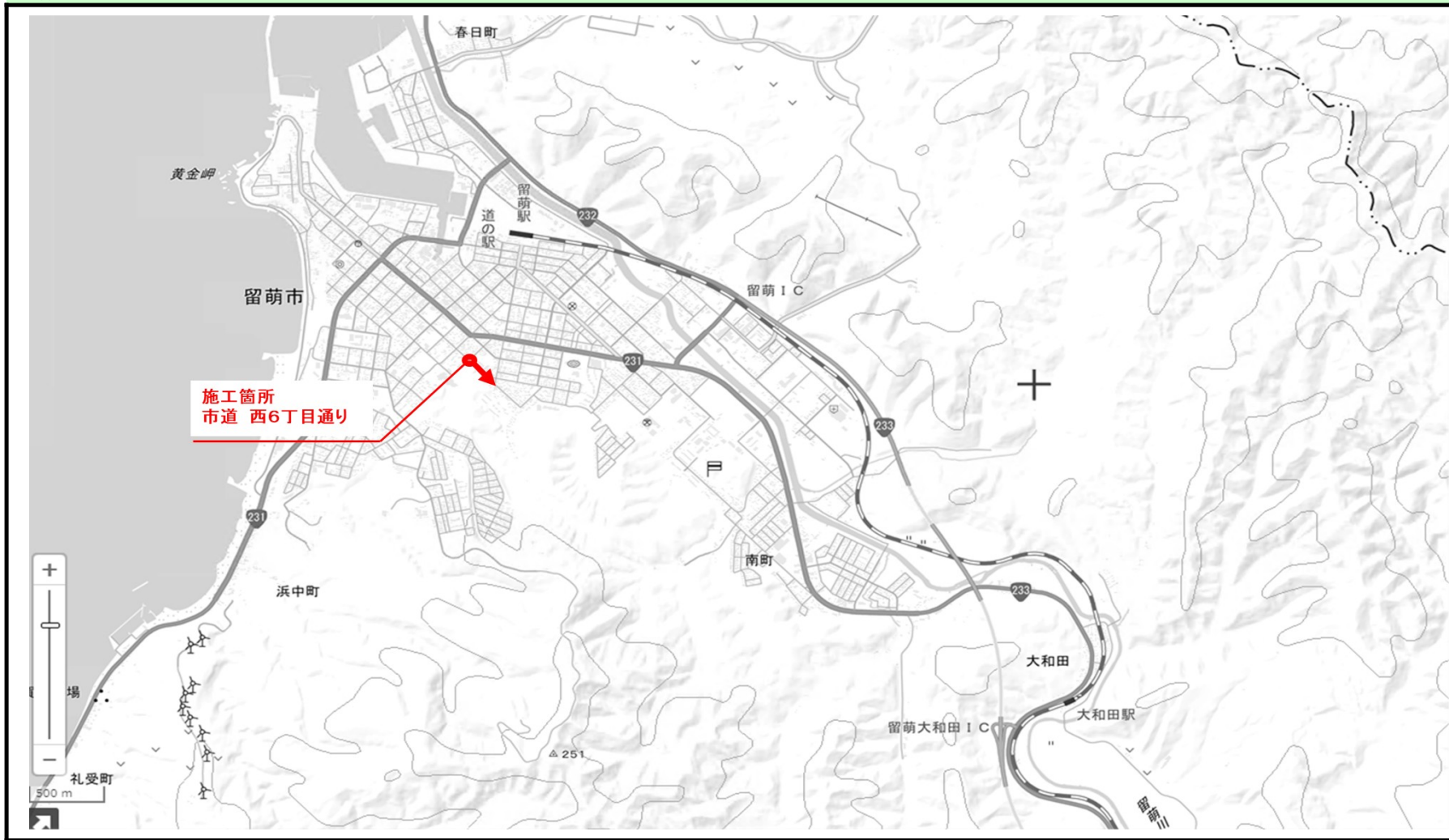
# 位置図

工事名	西 6 丁目通り道路改良工事																	
施工箇所	留萌市旭町 3 丁目																	
範囲	起 点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	終 点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。 ※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



<凡例>

旗揚線

施工箇所

留萌市

施工箇所塗り（丸印が起点）

←

↪

建設副産物の仮置箇所

●

残土処理場箇所・仮置箇所

▲

土取場箇所・発生土受渡箇所

▲

その他指定する箇所（仮設ヤード等）

□

輸送起点等

■

表示情報（表示している情報は■）

☒ 施工箇所・施工範囲

☐ 建設副産物の仮置箇所

☐ 残土処理場

☐ 仮置場

☐ 土取場

☐ 発生土受渡箇所

☐ 輸送起点箇所

☐ その他

備 考

地図の出典元：国土地理院

## 工 事 数 量 総 括 表

工事名          西 6 丁目通り道路改良工事

留萌市

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事				( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
							工事区分	道路改良			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件		単位	数量
道路改良				式		1					
道路土工				式		1					
掘削工				式		1					
掘削[流用土 ]			土質:土砂 オープンカット 押土:無 障害:無 5,000m3未満	m3		10		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1	
掘削			土質:土砂 オープンカット 押土:無 障害:無 5,000m3未満	m3		1,100		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1	
土砂等運搬			バックホ山積0.8m3 土質:土砂 DI D:有 運搬距離:3.3km 【ダンプトラック[オンロード ・ディーゼル]   10 t 積級 】【タイヤ損耗費   10 t 積級 良好 供用日 】	m3		1,100		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m 3	1	
整地			残土受入れ地での処理	m3		1,100		< 1 m3当たり > 整地	m 3	1	
路床盛土工				式		1					
路床盛土			2.5m未満	m3		10		< 1 m3当たり > 路床盛土	m 3	1	
法面整形工				式		1					

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事				( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
								工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
								現場条件	単位	数量	
法面整形(切土部)			切土部 現場制約:無 土質:レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	m2		10		< 1 m2当たり > 法面整形	m 2	1	
法面整形(盛土部)			盛土部 締固:有 現場制約:無 土質:レキ質土	m2		10		< 1 m2当たり > 法面整形	m 2	1	
路面工内法面整形			切土部 現場制約:無 土質:レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	m2		140		< 1 m2当たり > 路面工内法面仕上げ	m2	1	
法面工				式		1					
植生工				式		1					
張芝			張芝工300m2未満 現場制約:無	m2		5		< 1 m2当たり > 人力施工による植生工	m2	1	
排水構造物工				式		1					
作業土工				式		1					
(床掘り)			土質:土砂 小規模	(m3)		( 130)		< 1 m3当たり > 床掘り	m 3	1	
(埋戻し)			土質:土砂 小規模	(m3)		( 120)		< 1 m3当たり > 埋戻し	m 3	1	
側溝工				式		1					

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
プレキャストU型側溝		種類:U-300B 新材 【U型側溝   300B 2000mm/個 m 参考質量264kg/個 ロングタイプ E コストが コンクリート対応品含む】【Co 再生骨材0-40mm   運搬費含む(3 .0km以下)【R6.3適用】 】【	m		104		< 1 m当たり > U型側溝	m	1	
管（函）渠型側溝		種類：函渠(300×300) 新材 【U型ボックスカルバート T m - 2 5   3 0 0 × 3 0 0 × 1 0 0 0 】【	m		30		< 1 m当たり > 管（函）渠型側溝	m	1	
側溝蓋		区分:1種 溝幅：U300 種類：コ ンクリート蓋 新材 【U形用蓋（1種）   3 0 0 4 0 × 6 × 6 0 参考質量 32 kg/個 人道用】	枚		2		< 1 枚当たり > 蓋版	枚	1	
側溝蓋		区分:2種 溝幅：U300 種類：コ ンクリート蓋 新材 【U形用蓋（2種）   3 0 0 4 0 × 1 0 × 6 0 参考質量 5 4kg/個 車道用】	枚		172		< 1 枚当たり > 蓋版	枚	1	
管渠工			式		1					
鉄筋コンクリート台付管		管径： 300 L=2000m 砂利基礎 ：t=20cm(再生Co0-40mm) 【鉄筋コンクリート台付管   300mm 2000mm/本 JSWAS A -9 参考質量 368kg/本】【Co 再生骨材0-40mm   運搬費含む(3 .0km以下)【R6.3適用】 】【	m		19		< 1 m当たり > 鉄筋コンクリート台付管  基礎碎石	m m 2	1 1	

# 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	事業区分	道路新設・改築
						工事区分	道路改良
						摘要	
						現場条件	単位 数量
鉄筋コンクリート台付管 [Coベース板有]	管径: 300 L=2000m 砂利基礎:t=20cm(再生Co0-40mm) Coベース板有 【鉄筋コンクリート台付管   300mm 2000mm/本 JSI WAS A-9 参考質量 368kg/本】 【Co再生骨材0-40mm   運搬費含む(3.0km以下)【R6.3適用】】			19		< 1 m当たり > 鉄筋コンクリート台付管	m 1
						管用基礎板	m 1
						基礎砕石	m 2 1
鉄筋コンクリート管	1種 300 【Co再生骨材0-40mm   運搬費含む(3.0km以下)【R6.3適用】】			69		< 1 m当たり > 鉄筋コンクリート管 ( 1 種管 ) 据付・撤去	m 1
						基礎砕石	m 2 1
集水樹・マンホール工		式		1			
プレキャスト集水樹	プレキャスト材種類: I-A下部樹(H=700mm) 作業区分:設置 【集水樹 型A樹 H=700mm [見積策定単価]   】	箇所		6		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基 1
						プレキャスト集水樹 ( 材料費 )	基 1
プレキャスト集水樹	プレキャスト材種類: I-A下部樹(H=1000mm) 作業区分:設置 【下部樹   型A 840×840×1000mm 参考質量759kg/個】	箇所		7		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基 1
						プレキャスト集水樹 ( 材料費 )	基 1
プレキャスト集水樹	プレキャスト材種類: I-A中間樹(H=300mm) 作業区分:設置 【中間樹   型A 840×840×300mm 参考質量260kg/個】	箇所		2		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水樹	基 1
						プレキャスト集水樹 ( 材料費 )	基 1

# 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良			
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
プレキャスト集水桝		プレキャスト材種類: I-A中間桝(H=400mm) 作業区 分:設置 【中間桝   型A 840×840×400mm 参考質量340kg/個】	箇所		4		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水桝	基	1	
							プレキャスト集水桝(材料費)	基	1	
プレキャスト集水桝		プレキャスト材種類: I-A中間桝(H=500mm) 作業区 分:設置 【中間桝   型A 840×840×500mm 参考質量421kg/個】	箇所		1		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水桝	基	1	
							プレキャスト集水桝(材料費)	基	1	
プレキャスト集水桝		プレキャスト材種類: -D(H=660mm) 作業区分:設置 【下部桝   型D 640×1020×650/660mm 参考質量614kg/個】	箇所		7		< 1 箇所当たり > プレキャスト集水桝	基	1	
							プレキャスト集水桝(材料費)	基	1	
蓋		鋼製 T-25 型A下部桝用 普通目 【桝蓋   鋼製 T-25 型A下部桝用 普通目 710×710×71mm 参考質量 60kg/枚 R-5】	枚		5		< 1 枚当たり > 材料費(枚)	枚	1	
蓋		鋼製 T-14 型A下部桝用 普通目 【蓋種類: 鋼製・T-14・I-A桝・下部桝用・普通目   】	枚		1		< 1 枚当たり > 材料費(枚)	枚	1	
蓋		鋼製 T-14 型A桝用 600S 【桝蓋   鋳鉄製 T-14 600S 角型受枠付 参考質量 70kg/組】	枚		7		< 1 枚当たり > 材料費(枚)	枚	1	
蓋		鋼製 T-25 型D下部桝用 普通 【桝蓋   鋼製 T-25 型D桝用 普通目 460×880×81mm 参考質量 55kg/枚 R-9】	枚		7		< 1 枚当たり > 材料費(枚)	枚	1	

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築	
							工事区分	道路改良	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
							現場条件	単位	数量
組立1号マンホール		規格:1号マンホール 蓋種類:650S 調整高:10mm 【砂   凍上抑制層用材料 】	箇所		1		< 1 箇所当たり > ブロック 蓋 受枠 可とう継手等		1
組立1号マンホール		規格:1号マンホール 蓋種類:650S 調整高:30mm 【砂   凍上抑制層用材料 】	箇所		1		< 1 箇所当たり > ブロック 蓋 受枠 可とう継手等		1
組立1号マンホール		規格:1号マンホール 蓋種類:650S 調整高:50mm(調整リング設置) 【材料費   調整用リング【2誌 平均単価R6.3月号】   】	箇所		1		< 1 箇所当たり > ブロック 蓋 受枠 可とう継手等		1
組立1号マンホール		規格:1号マンホール 蓋種類:650S 調整高:70mm(調整リング設置) 【砂   凍上抑制層用材料 】 【材料費   調整用リング【2誌平 均単価R6.3月号】   】	箇所		1		< 1 箇所当たり > ブロック 蓋 受枠 可とう継手等		1
地下排水工			式		1				
地下排水		規格:合成樹脂波状管 200 【合成樹脂管   波状管 200mm m 無孔管 耐圧強度2300N/m以 上 可とう性35mm/50N以上 長 さ 5m/本 導水用にも適用可】			9		< 1 m当たり > 暗渠排水管	m	1
支管		200用	箇所		1		< 1 箇所当たり > 取付管布設および支管取付工 (市場単価)	箇所	1
構造物撤去工			式		1				
構造物取壊し工			式		1				

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
							工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し		構造物区分:無筋構造物	m3		22		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1	
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し		構造物区分:鉄筋構造物	m3		17		< 1 m3当たり > 構造物とりこわし	m 3	1	
舗装版切断		舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ、舗装版厚: 15cm以下	m		170		< 1 m当たり > 舗装版切断	m	1	
舗装版切断		舗装版種別: ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、舗装版厚: 15cm以下	m		10		< 1 m当たり > 舗装版切断	m	1	
舗装版破砕		舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ、舗装版厚: 15cm以下	m2		2,010		< 1 m2当たり > 舗装版破砕	m 2	1	
舗装版破砕		舗装版種別: ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装、舗装版厚: 15cm以下	m2		10		< 1 m2当たり > 舗装版破砕	m 2	1	
運搬処理工			式		1					
殻運搬		無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ DID:有 運搬距離:2.8km 【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   1 0 t 積級 】【タイヤ損耗費   1 0 t 積級良好 供用日 】【	m3		22		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1	
殻運搬		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ DID:有 運搬距離:2.8km 【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   1 0 t 積級 】【タイヤ損耗費   1 0 t 積級良好 供用日 】【	m3		17		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1	

## 工事数量総括表

	工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	道路改良		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
							現場条件	単位	数量
殻運搬		舗装版破碎 厚さ:15cm以下 DID :有り 運搬距離:4.2km 【ダンプトラック[ オンロード・ディーゼル ]   1 0 t 積級】 【タイヤ損耗費   1 0 t 積級 良好 供用日 】	m3		88		< 1 m3当たり > 殻運搬	m 3	1
殻処分		コンクリート殻(無筋) 【再資源化廃棄物受入費   有筋 コンクリート塊,無筋コンクリート塊 (株) ) 産業廃棄物処理センター】	m3		22		< 100 m3当たり > 処分費 ( t )	t	235
殻処分		コンクリート殻(鉄筋) 【再資源化廃棄物受入費   有筋 コンクリート塊,無筋コンクリート塊 (株) ) 産業廃棄物処理センター】	m3		17		< 100 m3当たり > 処分費 ( t )	t	250
殻処分		アスファルト殻 【再資源化廃棄物受入費   アス ルト塊 小破:縦横 300mm迄 (厚さ150mm以上は中破) (株) ) ネオリサイクル】	m3		88		< 100 m3当たり > 処分費 ( t )	t	230
殻処分		殻種別: 汚泥 ( 切断水 ) 【再資源化廃棄物受入費   含水 率85%超(ベントナイト・セメントミルク、推 進、杭打、側溝、カッター等) (株) ) ネオリサイクル 第3工場】	m3		0.2		< 100 m3当たり > 処分費 ( t )	t	110
殻処分		廃プラスチック	t		0.08		< 1 t当たり > 廃プラスチック	t	1
現場発生品運搬		廃プラスチック	回		1		< 1 回当たり > 現場発生品及び支給品運搬	t	0.08
現場発生品運搬		鉄屑(グレーチング蓋等)	回		1		< 1 回当たり > 現場発生品及び支給品運搬	t	0.79

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事		( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築			
						工事区分	道路改良			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
仮設工				式		1				
交通管理工				式		1				
(交通誘導警備員)			交通誘導警備員 B	(人日)		( 153)		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員 B	人日	1
舗装				式		1				
舗装工				式		1				
舗装準備工				式		1				
不陸整正			補足材料：無	m2		2,020		< 1 m2当たり > 不陸整正	m 2	1
不陸整正			補足材料：有 平均厚 t=5cm 切込砕石 0-40mm 【切込砕石   0 ~ 4 0 mm 】	m2		10		< 1 m2当たり > 不陸整正	m 2	1
アスファルト舗装工				式		1				
凍上抑制層（車道部）			路盤材種類：コンクリート再生骨材 0 ~ 80mm 級 仕上り厚：40cm 【Co再生骨材 0-80mm   運搬費含む (5.0km以下) 【R6.3適用】】	m2		1,160		< 1 m2当たり > 下層路盤（車道・路肩部）	m 2	1

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
							工事区分	舗装		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件	単位	数量	
凍上抑制層（歩道部）		コンクリート再生骨材0～80mm級 17cm 【Co再生骨材0-80mm   運搬費含む(5.0km以下)【R6.3適用】】	m2		332		< 1 m2当たり > 下層路盤（歩道部）	m 2	1	
凍上抑制層（重車両部）		コンクリート再生骨材0～80mm級 22cm 【Co再生骨材0-80mm   運搬費含む(5.0km以下)【R6.3適用】】	m2		113		< 1 m2当たり > 下層路盤（歩道部）	m 2	1	
下層路盤(車道・路肩部)		路盤材種類:コンクリート再生骨材 0～40mm級 仕上り厚：30cm 【Co再生骨材0-40mm   運搬費含む(3.0km以下)【R6.3適用】】	m2		1,200		< 1 m2当たり > 下層路盤（車道・路肩部）	m 2	1	
下層路盤(歩道部)		路盤材種類:コンクリート再生骨材 0～40mm級 仕上り厚：10cm 【Co再生骨材0-40mm   運搬費含む(3.0km以下)【R6.3適用】】	m2		332		< 1 m2当たり > 下層路盤（歩道部）	m 2	1	
下層路盤(重車両部)		(重車両部)路盤材種類:コンクリート再生骨材 0～40mm級 仕上り厚：20cm 【Co再生骨材0-40mm   運搬費含む(3.0km以下)【R6.3適用】】	m2		116		< 1 m2当たり > 下層路盤（歩道部）	m 2	1	
下層路盤(歩道部:民地摺付)		(民地摺付)路盤材種類:コンクリート再生骨材 0～40mm級 仕上り厚：20cm 【Co再生骨材0-40mm   運搬費含む(3.0km以下)【R6.3適用】】	m2		325		< 1 m2当たり > 下層路盤（歩道部）	m 2	1	

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
						工事区分	舗装			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
縁石工				式		1				
縁石工				式		1				
歩車道境界ブロック			車道用縁石 型 新材 【車道用縁石 型   標準 参考 質量95kg/枚 105kg/枚 コンクリート対応 品含む】 【生コンクリート 混 合B種   C 1 Ⅱ】	m		2		< 1 m当たり > 歩車道境界ブロック	m	1
歩車道境界ブロック			車道用縁石 型 新材 【車道用縁石 型   標準 参考 質量77kg/枚 105kg/枚 コンクリート対応 品含む】 【生コンクリート 混 合B種   C 1 Ⅱ】	m		176		< 1 m当たり > 歩車道境界ブロック	m	1
直接工事費				式		1				
共通仮設費				式		1				
共通仮設費（率計上）				式		1				
純工事費				式		1				
現場管理費				式		1				

## 工事数量総括表

		工事名	西 6 丁目通り道路改良工事			( 当 初 )	事業区分	道路新設・改築		
							工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要			
							現場条件		単位	数量
工事原価			式		1					
一般管理費等			式		1					
工事価格			式		1					
消費税相当額			式		1					
工事費計			式		1					